

## 本ってなに

理事 北原 巖男

「本って何。読み物なの。紙に書いてあるの。音は出るの。」

あなたがお父さんやお母さん、お祖父さんやお祖母さんになるような時代、あなたより若い世代の子供達から、こんな事を聞かれるかもしれません。

今でも雑誌や新聞の多くはWEBで発行され、漫画や書物の一部は電子書籍のような媒体で読まれています。その上AIの登場で読むという事もなくなり、読むより音声で聴くのが早いなどという人も大勢います。紙の本からスマホ等の画面。この流れはますます加速し止める事は出来ないでしょう。古い世代のわたしたちには考えられない事態となっています。

それだからこそ、紙の本を知る最後の世代かもしれない皆さんが貴重なのです。紙の本の手ざわり、新しい本の印刷インクの匂い、古い本の独特の感じ、ページをめくる時のわくわく感、背表紙のたたずまい、本の厚みの中に古人を訪ねる喜び、それら全てを後の世代の子供達に伝えて欲しいのです。それが出来るのは本の時代を知っている皆さんだけです。

「二冊の本があなたの真の友」と言った人がいます。あなたの真の友になる本を探してみてもいかがでしょう。思いがけないところに真の友がいるかもしれません。

(東ティモール民主共和国名誉総領事・元防衛施設庁長官)

「機学」  
第43号/令和7年(2025年)  
古岡機学会第43期生文集

令和7年(2025年)1月1日発行  
公益財団法人古岡機学会

